

一般質問

6月定例会では、16人の議員が一般質問を行いました。(順不同)

Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等(執行機関)に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



財源確保策における市長の考え方について
【進風会】 山田 昌紀

Q 財源確保策における市長の考え方を伺う。

A 【市長】 市政経営への転換により、稼ぐ力を創出するための取り組みとして、新たに発想クルリ

Q 剪定枝を地域のエネルギーとして活用し、化石燃料の代替として活用することが、市としてカーボンオフセットを積極的に推進する意思表示になると思うが考えを伺う。

A 【市長】 市政経営への転換により、稼ぐ力を創出するための取り組みとして、新たに発想クルリ



剪定枝を地域内のエネルギーとして循環させる発想は「いせはら為成会」 越水 崇史

Q 剪定枝を地域のエネルギーとして活用し、化石燃料の代替として活用することが、市としてカーボンオフセットを積極的に推進する意思表示になると思うが考えを伺う。

A 【市長】 市政経営への転換により、稼ぐ力を創出するための取り組みとして、新たに発想クルリ

A 【経済環境部長】 草木類のコークス化による資源化手法は、製鉄工場での鉄鉱石の還元剤として使用される石炭コークス等の環境負荷の低い代替品として注目されている先進技術であると認識を

◎健康づくりについて



改正災害対策基本法を踏まえた取り組みについて
【志政会】 小沼 富夫

Q 改正災害対策基本法の主な内容、これを受けた本市地域防災計画の見直しに対する見解を伺う。

A 【危機管理担当部長】 改正災害対策基本法の主な内容について、国の災害対応の強化では、被災自治体の要請を待たず

Q スマート新駅は実現の見込みがあるのか、現在の市および小田急電鉄の想いを伺う。

A 【都市部長】 都市マスタープランは、将来の望ましい都市の姿を展望し、都市づくりの目標や都市像などを示すとともに、その実現に向けた都市計画の基本的な方針を定めるものである。改定に当たっては、スマート新駅の検討の先を見通し、将



新たな財源確保に向けた取り組みについて
「公明党いせはら」 今野 康敏

Q 民間資金を活用した新たな財源確保の取り組み状況について伺う。

A 【企画部長】 厳しい財政状況下において市民サービスへの維持向上を図るには、地方自治体においても「稼ぐ力」を発揮していくことが求められている。こうした考えの下、今年度新設した発想クルリ

Q 現行の市学校施設個別施設計画を令和8年度に改定するとの言及があったが、改定に際しての考え方について伺う。

A 【教育部長】 本計画は、学校施設の状況を取り巻く変化等に対応していくため、策定後5年から10年での改定を基本とし、社会情勢の変化等により見直すこととしている。今般の計画改定においては、これまでの計画に基づく施設改修等の進捗を踏まえるとともに、施設の老朽化への対応や、さ



特定行政庁になるべきだと思うか
【進風会】 荻野 貴文

Q 自分たちのまちは自分たちでつくるという意識のもと、北口再開発等の建築確認に対し、市が主体的に関与できる仕組みを整えることが重要と考える。これまでの経験を踏まえ、市が特定行政庁になったほうがよいか見解を伺う。

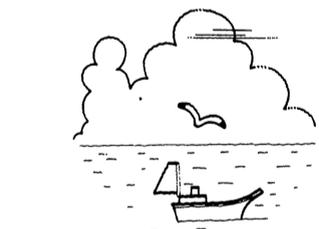
A 【副市長】 民間に建築確認が流れていく状況があり、民間でできるのではないかとという大勢の中で、建築基準法の法令を



先行事例を踏まえ「学びの多様化学校」に対する見解
「いせはら為成会」 八島 満雄

Q 学びの多様化学校の設置に対する現状と課題を教育委員会としてはどのように捉えているのか、見解を伺う。

A 【学校教育担当部長】 学びの多様化学校設置については、自立的な学びや個々に応じた多様な学びの場の選択肢を広げるといった意味で大変意義のある取り組みである



A 【市職員の能力発揮について】

◎伊勢原の主食を支える米生産について